

～下田のデキゴト～



**3/3 10人で勝ち取った優勝旗**

第19回下田市長杯兼第10回しずぎんカップ・スポーツ少年団軟式野球下田支部大会において、団員10人の下田東ジュニアが優勝旗を手に入れました。東ジュニアの皆さん、本当におめでとうございます！



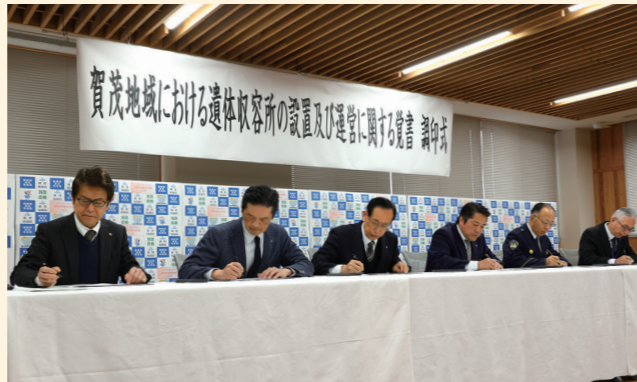
**3/14 ドローンを活用した物資輸送の試験飛行**

稲梓の箕作地区から須原地区において、ドローンの試験飛行が行われました。災害時における、道路や河川の状況把握、土砂崩れや倒木等によって孤立した集落への物資輸送について、今後も検討していきます。



**3/17 第2回下田マラソン開催！**

まどが浜海遊公園にて第2回しもだマラソンが行われ、100名を超える選手のエントリーがありました。マラソンの終了後にはゼッケン番号で抽選を行い景品が当たる抽選会も行われました。



**3/12 いざというときの備え**

賀茂地域6市町と下田警察署、賀茂地域局との間で、平時における遺体収容所設置運営に関する連携体制の構築や情報共有のため、「賀茂地域における遺体収容所の設置及び運営に関する覚書」を締結しました。



**3/16 下田開港170周年記念 特別講演**

下田市民文化会館において、歴史作家で多摩大学客員教授の「河合敦」氏を講師に、下田の開港170年の史実を学ぶ講演会「なぜ下田が選ばれたのか」を開催しました。



**3/21 地域おこし協力隊活動報告会**

中心市街地活性化、里山づくり、アウトドアスポーツ振興、移住・定住促進など、市のために様々な活動を行っている地域おこし協力隊4名の隊員から活動報告が行われました。

- 3月のできごと**
- 2日 下田わくわくパークこれば！
  - 10日 津波避難訓練
  - 18日 卒園式（下田認定こども園）

- 19日 卒業式（市内小中学校）
- 21日 地域おこし協力隊年間活動報告会
- 25日 卒園式（稲生沢こども園・下田保育所）

**地域子育て支援センター通信**

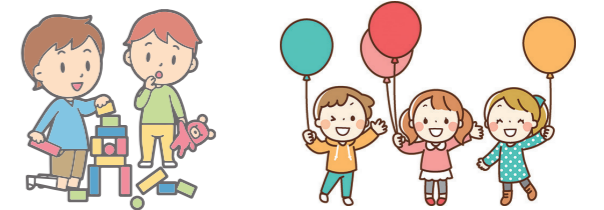
問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



**5月の予定**

- 2日(木) こどもの日の会
- 8日(水) 敷根公園で遊ぼう 9:30~11:00
- 10日(金) わくわくタイム \*午後閉館(清掃・消毒)
- 13日(月) 体育館で遊ぼう 9:30~11:00  
場所:市民スポーツセンター (サンワーク)
- 18日(土) 開館日
- 20日(月) 笑いヨガ 講師:黒澤香恵子先生 10:30~
- 22日(水) 誕生会 10:30~
- 24日(金) おでかけ広場(海遊公園) 9:45~11:00  
\*午後閉館(清掃・消毒)
- 27日(月) 発育測定・育児相談 9:00~11:00  
保健師・栄養士来所
- 29日(水) 赤ちゃんパパママのふれあいタイム  
講師:佐々木かおり先生 14:00~
- 31日(金) 図書館出前講座 10:30~

やわらかな日差しと暖かな風につつまれて新年度がスタートしました。  
子育て支援センターは、親子で自由に交流できる場や子育てに関する相談、情報の提供などを行っています。また第一・第三土曜日の開館を行っています。  
お子さんの健やかな成長を保護者の方とともに願い、安心して子育てができるよう活動を進めていきたいと思ひます。たくさんのお友達との出会いを楽しみにしています。お気軽にお越しください。



お雛様製作



誕生会



図書館読み聞かせ



フローア-の様子

今から30年程前、「学校へ行こう!」というバラエティ番組があった。普通の生徒たちが出演し、アイドルグループのV6が盛り上げる。観ていると、「学校って楽しいところだなあ」と思うくらい面白くて、私は大好きだった。特に人気だったのが「未成年の主張」というコーナーで、中学生が校舎の屋上から自分の思いを叫ぶ。それを下のグラウンドに集まったたくさん生徒や教師が聞いて大ウケする、というものである。個人的な生徒が次々に登場しては自分の主張を大きな声で叫ぶ。最後の方の子の主張はたいてい恋の告白で、そこにカーペンターズの名曲「青春の輝き」の美しいメロディが流れて、私などはつい涙ぐんだりしたのだった。

当時、不登校とか学級崩壊など学校の存在意義が揺らいでいて、それへのテレビ局などのチャレンジなのかなという風に思っていた気がする(勘違いかもしれないが)。

下田が元気で楽しいまちとして持続可能にするための市民チャレンジとして「まちへ行こう!」と市民の皆さんに声を大にしてお願いしたい。新しく市役所となる元中学校の屋上から私も叫んでみようかな(笑)。

さて、翻(ひる)って、今の日本社会を見ると、ステイホームとか密を避けるなどといったコロナの生活習慣が身体に沁みついてしまい、仲間達と飲み歩いたり、カラオケに行ったり、という機会が相当少なくなっている。都市部でも歓楽街は寂しくなっているそう。このことは下田でも同様で、事は相当深刻だと感じる。

下田市は、人口が少ない(しかも高齢者が多い)割には個店や飲食店が多いのが特徴なのだが、それらの店舗の存在はこのまちの魅力でもあり、観光の一翼を支えてくれている。こうした街の灯を絶やさないためにも私たちは、今、積極的にまちに出て、いろいろな楽しみ方を試してみよう。どうだろう、と思うのだ。

下田が元気で楽しいまちとして持続可能にするための市民チャレンジとして「まちへ行こう!」と市民の皆さんに声を大にしてお願いしたい。新しく市役所となる元中学校の屋上から私も叫んでみようかな(笑)。

こんにちは、市長です  
「まちへ行こう!」

